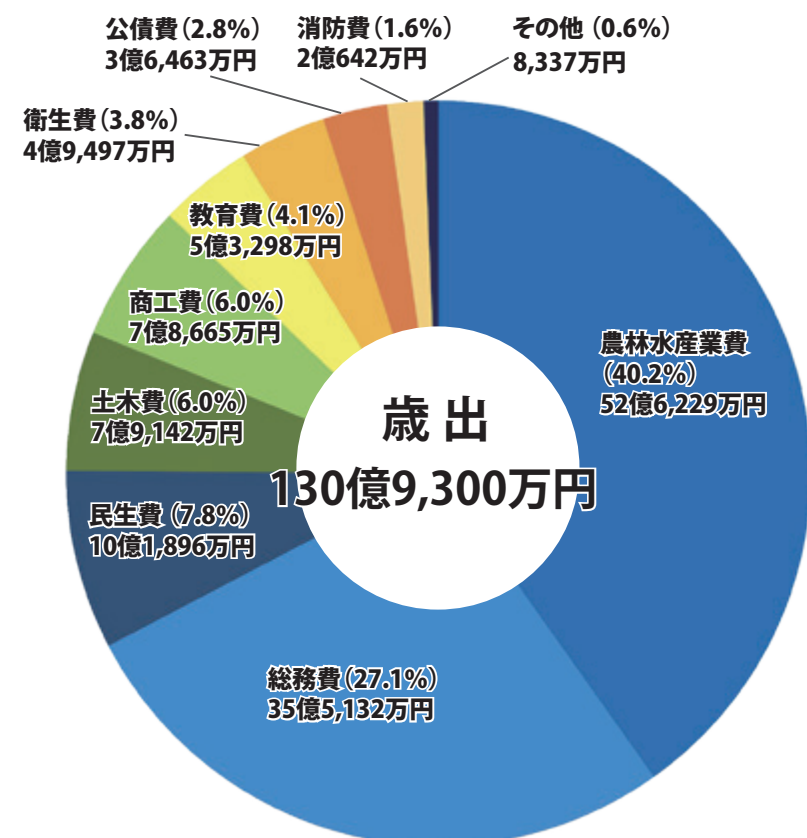
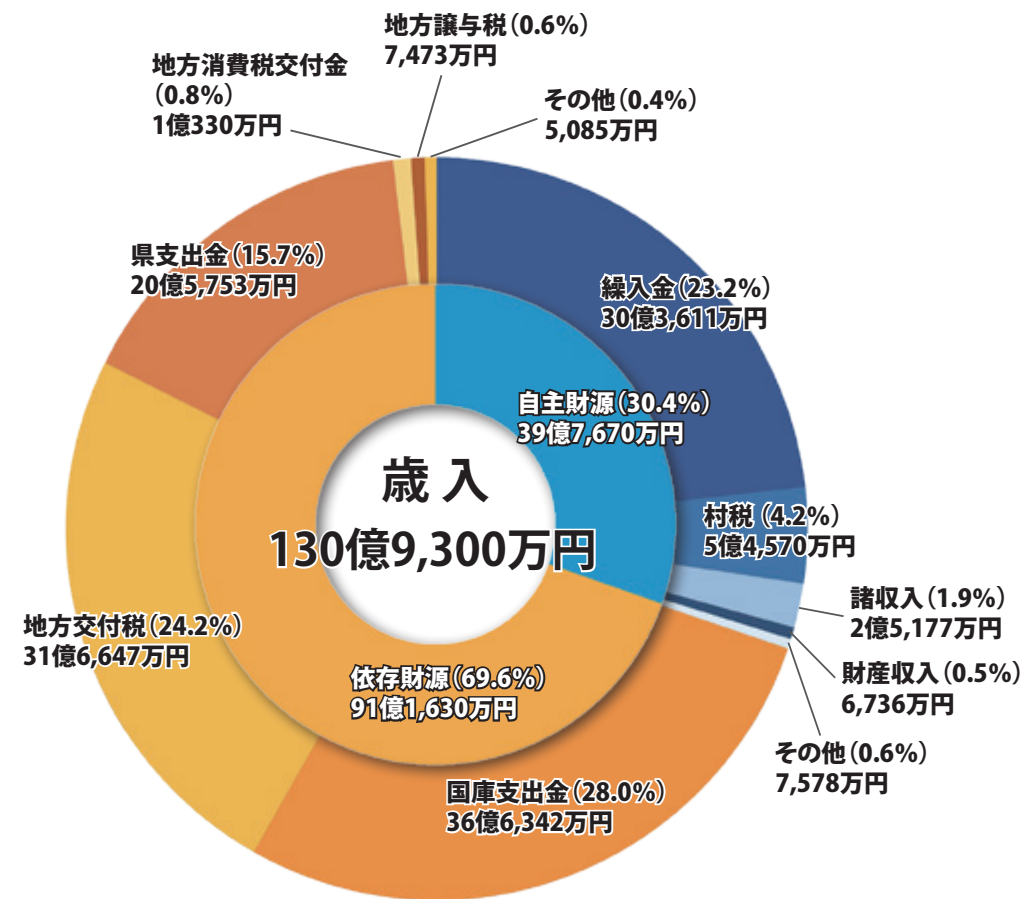


# 令和6年度 一般会計当初予算

令和6年度の当初予算案は、飯館村議会3月定例会の予算審査特別委員会(佐藤健太委員長)において審査と採決が行われ、3月15日の本会議にて可決・成立しました。令和6年度の一般会計当初予算と特別会計当初予算、公営企業会計当初予算について、概要をお伝えします。



項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の合計と全体の合計が一致しない場合があります。

## 令和6年度 一般会計

福祉や教育、消防など住民に対して広く行う各種事業についての包括的な会計です。

令和6年度一般会計当初予算は130億9300万円、対前年度比12.8%減、金額にして19億2500万円の減となりました。

**歳入**  
令和6年度の村の収入総額

村税などの「自主財源」は39億7670万円、歳入全体の30.4%です。一方、国や県からの支出金などからなる「依存財源」は91億1630万円、歳入全体の69.6%を占めています。

**歳出**  
令和6年度の村の支出総額

令和6年度は、国が定める第2期復興創生期間の4年目です。同期間が令和7年度をもって終了することから、令和6年度は、復興に向けた各種事業の達成と確認を行い、令和7年度以降の事業

要望とその後の展開に向けて構想を練る重要な年となります。

令和6年度当初予算の編成にあたっては、期間終了以降も継続する事業、民間活力や新たな担い手に移行する事業、期間終了とともに縮小・廃止していく事業など、将来予測を踏まえた事業の組み立てに注視し、方向を示す予算の検討を行いました。

また、計画している各種事業は、「①次世代・継承」「②なりわい」「③10年後を見据える」「④帰還困難区域」という4つの指標と、「①村民の今を支える取り組み」「②村の将来への布石となる取り組み」の2つの力点をもって、事業の組み立てを行っています。

これらの指標と力点は、令和5年度に見直しを行い再構成した飯館村第6次総合振興計画「後期計画」にも掲げており、計画期間中一貫して取り組む方針です。

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です。

## 令和6年度 特別会計

- 国民健康保険特別会計…………… 7億5,646万円
- 介護保険特別会計(事業勘定) …… 10億4,246万円
- 介護保険特別会計(サービス勘定) …… 631万円
- 後期高齢者医療特別会計…………… 7,652万円

## 令和6年度 公営企業会計

- 簡易水道事業会計…………… 2億6,651万円
- 農業集落排水事業会計…………… 1億192万円

※公営企業会計予算額は、収益的支出及び資本的支出の合計。